

【畜産】の【長雨・日照不足】対策について

<7月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【畜産全般】

(1) 予想される被害状況

- ・ 畜舎内の湿度上昇により体感温度が上昇し、暑熱ストレスを受ける。
- ・ 雨の打ち込みによる床湿りにより、舎内環境が悪化する。
- ・ 雨上がり後の急な舎内温度上昇により、熱射病の発生や生産性の低下を引き起こす。

(2) 事前対策

- ・ 舎内の換気扇で送風することにより床面を乾燥するとともにアンモニアの滞留を防ぐ。
- ・ 定期的な敷料交換により床面の環境悪化を防ぐ。

(3) 事後対策

- ・ 床湿りした床材は早期に交換、または水分調整のために乾燥した敷料を投入する。
- ・ カーテンの開閉や、換気扇の直接送風により家畜や鶏の体温を下げる。
- ・ 舎内湿度が高い場合は、散水や細霧装置の利用は控える。